

救出・救助訓練

災害が起こったときに最優先するのは人命救助であることは言うまでもありません
ここでは救出方法の一部について記載しています

1 ねらい

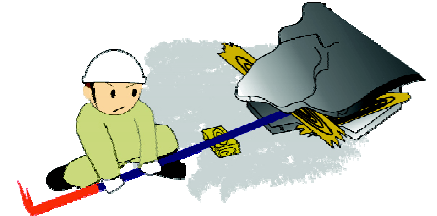
地震などの大規模災害の現場では、迅速な救助、救出活動が求められるため、普段から資機材の取り扱い方法、救出方法を学びます。

2 必要スタッフ (参加人員30名程度の目安)

4～5人

3 必要なもの (参加人員30名程度の目安)

(品目)	(数量)
のこぎり	5
ボール	5
ジャッキ	5
ボルトクリッパー	5
ハンマー	5
角材 (太さ10cm以上のもの)	5



4 内容紹介

倒壊した家屋等に閉じ込め、または下敷きになった人を想定して、のこぎり、ボール等資機材を活用して救出救助訓練を実施します。

5 進め方

(1) 事前説明

各資機材の品名、取り扱い要領、用途を事前に説明します。

(2) 事前準備

- ・ 使用資機材を必要数用意します。
- ・ 要救助者として、人形等を材木等の下に入れておきます。

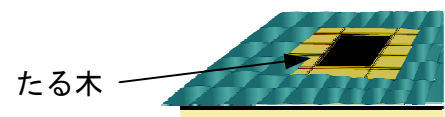
(3) 訓練実施

実際に救出救助訓練を実施するのは難しいので説明程度とし、資器材を使用して「てこ」などを体験する程度にとどめてもよいでしょう。

① 破壊方法について説明します。

(破壊方法)

- ・ 瓦葺の家は、瓦をはがし野地板をたる木にそって切断または破壊する。



(破壊方法つづき)

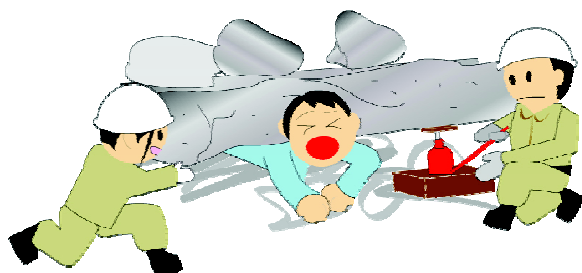
- ・ トタン葺の家は、トタンの接続部にバールなどを入れて引きはがし、野地板をたる木にそって切断または破壊する。
- ・ スレート葺の家は、ハンマーなどで叩き割って除去し、野地板をたる木にそって切断または破壊する。



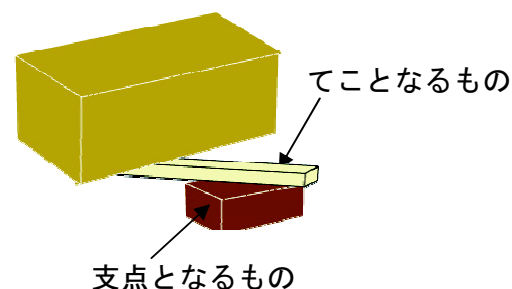
【活動要点】

- ・ 高い場所で活動する場合、活動する反対側の勾配に安全確保の要員を配置し、ロープ等で安全を確保し、足場の強度を確認のうえ、踏み抜き、転落しないようにする。
- ・ 瓦などを地上に落とす場合は、大きな声で知らせるなどして、地上の安全を確認してから落とす。
- ・ トタン板をはがす場合は、手や足を切らないよう注意する。

② 救出方法について説明します。



てこの利用



(救出方法)

- ・ 閉じ込められている人に声をかけて安心させ、中の状況を聞きだす。
- ・ ジャッキやてこを利用して、かぶさっているものを持ち上げる。
- ・ できた空間に角材などを入れて支える。
- ・ 作業のしやすい場所から除去や破壊を行う。

【活動要点】

- ・ 除去や破壊を行う場合は、その周囲が崩れないように注意する。
- ・ 支えやてこに使う角材などは、できるだけ太くて亀裂などが入っていないものを使用する。

参加者の方へ

近くにある資器材倉庫の位置や、中に入っている資器材を確認してもらうように参加者の方に伝えましょう。

お家にあるもので、救助などに使えるものがないか、参加者の方に調べてもらいましょう。